

令和7年度 環境創造センター県民委員会議事録

●日時・場所

令和8年 3月 3日（火）午後2時00分から午後3時40分
環境創造センター交流棟1階 会議室

●報告事項

「第2期環境創造センター調査研究計画の改定について」

●議事

議題

- (1) 令和7年度環境創造センター事業報告（中間報告）について
- (2) 令和8年度環境創造センター年次計画について

●出席委員

福島大学共生システム理工学類	客員教授	河津 賢澄
福島県市長会	常務理事兼事務局長	小松 信之
福島県商工会連合会	専務理事	金子 市夫
福島県農業協同組合中央会	常務理事	今泉 仁寿（web 出席）
福島県消費者団体連絡協議会	理事	氏居 俊夫
一般財団法人福島県婦人団体連合会	理事	渡辺 佳子

（以上6名）

●欠席委員

福島県町村会	会長	星 學
福島県商工会連合会連合会	理事	菅野 日出喜
福島県小学校長会	課題担当部長	小林 雄
福島県PTA連合会	副会長	野木 和洋

（以上4名）

●事務局出席職員

福島県環境創造センター（県センター）		
所長	郡司 博道	
副所長	小池 由浩	
総務企画部長	沼田 博之	
研究部長	関谷 健一	
調査・分析部長	木賊 幸子	
研究部副部長	齋藤 史紀	
調査・分析部放射能調査課長	柴田 久男	ほか
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		
福島廃炉安全工学研究所廃炉環境国際共同		
研究センター（JAEA）		

センター長

飯島 和毅

国立研究開発法人国立環境研究所福島地域協働研究拠点（NIES）

拠点長 根木 桂三
研究グループ長 林 誠二

福島国際研究教育機構研究開発部門

（原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野）（F-REI）

副分野長 大原 利眞

●内容

1 開会

2 報告事項

「第2期環境創造センター調査研究計画の改定について」

事務局（関谷部長）から参考資料2-1、2-2を用いて、第2期環境創造センター調査研究計画の改定の概要について報告した。

3 議事

「議題（1）令和7年度環境創造センター事業報告（中間報告）について」及び「議題（2）令和8年度環境創造センター年次計画について」

事務局（木賊調査・分析部長、関谷研究部長、沼田総務企画部長）から資料1-1、1-2、2、3を用いて説明し、以下の質疑等があった。

【金子委員】

資料1-1のモニタリングについて、2点お伺いさせていただきたい。

まず1ページ目の下に平成23年4月と令和7年4月の比較図がありますが、赤色の線量の高いエリアが少なくなっているように思います。中間貯蔵施設のモニタリングは、この図に含まれているのでしょうか。

【木賊調査・分析部長】

中間貯蔵施設は国が管理している敷地のため、この図には含まれていません。

【金子委員】

分かりました。ありがとうございます。

2点目、資料1-1の10ページについて、「県内各地の空間線量率のデータを毎日収集し」と記載されていますが、休日の対応はどのように行っているのでしょうか。

【小池副所長】

放射線量については、国や県がデータを24時間収集し、ホームページで掲載しているシステムがございます。コミュタン福島の展示は毎朝8時時点のデータをホームページから拾い、展示で表示しております。

【金子委員】

人力でしょうか。自動でしょうか。

【小池副所長】

自動で行っております。

【金子委員】

わかりました。ありがとうございます。

【河津委員長】

他にいかがでしょうか。

【小松委員】

小中学校等への貸切バスの補助について、補助制度がありながら、すべての小学生が利用できていないということはもったいないと感じております。バス代の補助制度は全額補助か、上限額があるか教えていただきたい。

【沼田総務企画部長】

地域ごとに上限額がありますが、現状はほとんどの学校で持ち出しがない状況でございます。

【小松委員】

いまだに国民の放射線に対する誤解、偏見がある中で、少なくとも福島県内の子どもたちには、しっかりと放射線に対する教育を身に付けておく必要があるということを様々な場で市町村会長は発言しているところです。

学校によって事情はあると思いますが、ここで学ぶ必要性についてセンターとして周知を図っていただきたいと思います。

【河津委員長】

この件については、毎回話題になる話でございますが、小学校長会からは様々な学校の事情があるということを聞いております。前年度のうちに翌年度の計画を立てないといけないという事情もあり、なかなか1日がかりの行事は難しいという話も聞いております。

とは言いつつも、コミュタン福島の開館当時から小学5年生全員に来てもらおうと始まった事業だと思いますので、大変かと思いますが、様々な方面に働きかけながら周知を図っていただければと思います。小学校に限らず、次の世代を担っていく学生さんたちにぜひ広めていただければと思います。

他にいかがでしょうか。

【氏居委員】

私は民生委員をやっており、今期3期目になります。毎年研修旅行を行っておりますが、昨年度は「環境問題」をテーマに郡山市の清掃センターとコミュタン福島を見学させていただきました。参加者は65歳以上の高齢者でしたが、「すごく勉強になった。今度は孫と一緒に来て、また勉強したい。」という感想をいただきました。

老人クラブも同様に興味を持っていただけるとと思います。交通費補助までは不要ですが、何か記念になるような年寄りが喜ぶものをもらえると嬉しいと思います。よろしくお願いします。

【河津委員長】

私が知っている範囲でお話させていただきますと、老人クラブや子ども会など、環境省の中で相談員支援センターがあります。場合によっては、団体に対するバス代の補助制度もございますので、そちらを参考にいただければと思います。

私からもよろしいでしょうか。食品残さ、いわゆるごみの排出量問題について、県内様々なところで取り上げられております。福島県のごみ排出量は、全国ワースト1、2位と非常に多いと言われているが、その要因はよく分からないとされています。実態調査は行われたのでしょうか。また、他県との違いはあるのか。福島県は生ごみをいっぱい出すのが本当なのか。調査の中でそのような要因は出てきたのか教えていただければと思います。

【関谷研究部長】

たしかに食品残さが多いというところではありますが、まだ結果の取りまとめまでは至っておりません。今しばらくお待ちいただければと思います。

【金子委員】

それに関連するものですが、私は消費生活委員もやっております、昨年の研修会の中で生ごみ処理機の研修を受けたり、エシカル消費などを学んだりしました。県庁の消費生活課とセンターとの関わりはあるのでしょうか。

【関谷研究部長】

消費生活課あるいは、消費生活センターになろうかと思いますが、これまでセンターとの関わりはあまりありませんでしたので、御意見を踏まえ、検討したいと思います。

【金子委員】

消費生活課でもごみを減らすために分析を行っているのではないかと思いますので、相談してみてもどうかと思います。

【河津委員長】

全国ワースト1、2位などレッテルが貼られないようにしたい。福島市も郡山市もかなり危機感を持っており、ごみの減量化に向けて施策を検討していますので、ぜひ分析を進めていってほしいと思います。

もう1点目、森林の放射線の減衰に関して、物理的半減期程度で減衰しているとの説明がありましたが、物理的半減期程度しか下がっていかないということであれば、将来の見通しが少し暗いという印象を受けましたが、JAEAさん、何か御意見ありますでしょうか。

【飯島センター長】

ありがとうございます。森林に関しては、ほぼ物理減衰に近いということになります。下方への浸透速度が非常に遅いということと、これは下流にとっては良いことですが、森林の表土がどんどん流出していかないので、森林に関してはなかなか減衰しないことがデータで出てきております。

【河津委員長】

いわゆるウエザリング効果は期待できないということですね。わかりました。これはこれでこうした課題があるという認識は持っていないといけないなと感じております。

他にいかがでしょうか。

【小松委員】

冒頭説明いただいた参考資料2-1「第2期環境創造センター調査研究計画の改定」の6ページにもありましたが、「猪苗代湖の水質将来予測に関する研究」について、改定後では従来の「検討」から「提案」に表現が前進しております。水質の悪化は中性化が要因との説明がありましたが、対策としてヒシ類の除去が挙げられていますが、なかなか抜本的な対策は難しいと感じます。「提案」に表現が変わった背景には、何か具体的に対策など、まとまってきたということでしょうか。

【関谷研究部長】

これまでの調査研究から、湖水の水質悪化の原因に迫りつつありますが、昨年7月のラムサール条約湖沼への登録等の状況変化を踏まえ、水質のみならず周辺陸域の環境や利活用を含めた幅広い観点から政策の提案に繋げていきたいと取り組んでおります。

【小松委員】

そうしますと、流域の自治体も場合によっては参画するような協議の組織を作るというような流れになっていくのでしょうか。

【関谷研究部長】

県におきましては、現在、NIESと共同で、周辺市町村等を含む利害関係者との猪苗代湖のあるべき姿を議論するワークショップの開催に取り組んでおります。まだ研究段階であり、具体的な成果はこれからとなりますが、ゆくゆくは政策等の提言に繋げていきたいと考えて

おります。

【河津委員長】

他にいかがでしょうか。

それでは、議題(1)令和7年度環境創造センター事業報告（中間報告）及び議題(2)令和8年度環境創造センター年次計画に関して、意見の反映方法につきましては、私に一任いただくことでよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

【河津委員長】

ありがとうございました。それでは、これで本日の議事は終了したいと思います。皆様、御協力いただきありがとうございました。

4 閉会

以上